

六月二十八日(水)

三原市立系崎小学校 特別支援(知的)

あおぞら組

「面白いお話・すごいお話みいつけた」
第三時

授業構成図

本時のねらい
読み聞かせを聞いて、感想を伝えることができる。
☆キャリアの視点のねらい
自分の役割を理解する。

ルーブリック(到達規準)
S 絵本の読み聞かせを聞いて、面白かったことやすごいと思ったことを理由をつけて話している。
A 絵本の読み聞かせを聞いて面白かったことやすごいと思ったことをページをみせながら、話している。

振り返り場面

判断
面白かったことやかわいかったことをページを見せながら、話せていない。

原因
面白かったことやすごいと思っただけを話す方法を理解していない。

考え方のツール

見通しや実行方法を発想する場面

T 「りんごがたべたいねずみくん」を読みます。どこがおもしろかったかY君は、Aちゃんに、Aちゃんは、Y君に教えてあげてくださいね。
C Aちゃん、あのね、このページの見て。あしさんがねずみくんをなげてねずみくんがりんごをとったのが、面白かったよ。
C うん。
T 次は、「ねずみくんとゆきだるま」を読みます。どこがびっくりしたか教えてくださいね。
C Y君あのね、このページ見て。ねみちゃんが、一番小さいのに一番大きい雪だるまになったのがすごいよ。

対象と既存知識を関連付け、類推

問題(目標)を見出す場面

T 「ねずみくんのクリスマス」と「ねずみくんとホットケーキ」の本を持ってきました。どっちを読んでほしいですか。
C 「ねずみくんのクリスマス」です。
T なぜですか。
C ここが、面白いからです。
C 私は「ねずみくんとホットケーキ」がいいです。
T なぜですか。
C ここが、すごいからです。
T (どちらも一回ずつ読む。)
T 他にも、おもしろい本とすごい本はありますか。
C 読んで。

対象と既存の知識との「ズレ」を認識

☆キャリアの視点で、取り組む学習活動の上に☆を記載。

